

## 事業実施報告及び決算概要

- 2021年度(令和2年度)は、世界にまん延した新型コロナウイルス感染拡大が、国内外の社会経済活動に、歴史に特筆すべき未曾有の事態を惹起し、感染防止の徹底が官民一体での逼迫する課題となっています。
- 当法人としても、高齢者・乳幼児を対象とする施設の性格上、クラスターの発生を未然に防止し、利用者、ご家族、職員等の健康・命の安全を期するうえから「3密の回避」「手洗・手指消毒の励行」「マスクの着用」に努めるとともに、諸行事、会議等におけるソーシャルディスタンスの確保、おでんせ本宮でのご家族とのオンライン面会の導入を推進してきました。
  - 事業の実施状況については、「第3期中長期計画」(2018年度～2022年度)に基づき、全役職員が各般の業務の遂行に努め、保育士の確保難による影響は否めないものの、各施設とも地域の人びとや利用者・ご家族の信頼をいただきながら順調に運営されており、決算内容についても総じて良好な結果となりました。
  - 懸案事項については、2013年設置のコンピュータ・ネットワークシステム構成機種等の耐用年数経過に伴い、当該システムを更改したほか、北川保育園及び徳田保育園の空調工事を実施しました。また、牧の林すずの音保育園が福祉サービス第三者評価機関による専門的・客観的立場での「第三者評価」を受審し、その成果・手法等を未受審の3保育園の自己評価に取り入れ、よりよい保育の実現に努めることとしました。

### 1 令和2年度事業実施概要

- (1) 施設の利用状況(1日平均)については、老人福祉施設は161.6人(前年度比較3.1人減)でほぼ定員を確保し、児童福祉施設は464.5人(同27.6人減)で、法人全体の一日平均利用者数は、626.1人(同32.7人減)となりました。なお、保育所については、配置保育士のシフト編成見合いに制限されるため、利用者数は定員(460人)を52.7人下回り、一日平均407.3人で、前年度比較16.8人減となりました(別表参照)。
- (2) 職員の資質向上については、「職場研修実施要領」に基づき、計画的にOJT、OFF-JT、SDS研修等(各種外部研修等への受講派遣:延49人)を実施しました。
- (3) 活力ある職場づくりを推進するため、身近な課題の解決に向けて、職員自らが潜在能力を発揮し、更なる能力の向上に主体的に取組む「QC活動」を実施しました。
- (4) 子育て拠点としての取組み等については、牧の林すずの音保育園・前潟保育園の地域子育て支援センターにおける子どもの遊びの場の提供、仲間づくり、子育て相談・講習会、子育てサークルなどの育成・支援事業を展開しました。また、各保育園で、園舎の開放、体験保育、育児相談、離乳食等のレシピの提供、老人クラブ等の協力も得て園内農園での農作業や、郷土食・伝統芸能の伝承活動等に取り組みました。
- (5) 地域に開かれた事業については、引き続き、福祉関係養成校等からの研修生等を受入れ(協力)、法人全体の研修生の受入れは11人・延109人(うち、おでんせ本宮は3人・延48人)となっています。また、保育園園児の地域行事等への参加(延10回)や介護支援センターの介護予防教室など、地域との連携交流や社会貢献活動を促進しました。
- (6) 施設整備については、おでんせ本宮及び特定施設入居者生活介護移乗サポートロボットの導入その他の経年劣化等に伴う所要の維持修繕を実施しました。

### 2 令和2年度決算概要

- (1) 事業活動(サービス活動)による収支の状況については、事業活動資金収支差額は139,250千円で、前年度に比較すると、22,534千円(19.3%)の増となり、8サービス区分会計が収支の均衡を確保し、6サービス区分会計がマイナスの計上となりました(別表参照)。
- (2) 資金収支の状況については、当期末支払資金残高が14サービス区分会計いずれもプラスの決算となりました。法人全体の支払資金残高491,681千円は、前年度に比較すると13,062千円(2.7%)の増となっています(別表参照)。
- (3) 財務収支の状況については、法人全体の設備資金借入金残高11,400千円を返還したため、前年度に比較すると11,400千円の減(完済)となりました。
- (4) 積立資産の状況については、後年度に発生する建設改良等に備え、47,000千円を積立て、人件費等の財源に充てた積立資産20,000千円を取崩し後の法人全体の積立資産は520,280千円となりました。
- (5) 財産目録の状況については、純資産の総額は2,157,952千円となり、前年度に比較すると、69,773千円(3.3%)の増となっています(別表参照)。

このように、2020年度(令和元年度)の事業執行及び決算が順調に推移することができましたことは、日頃より役員及び評議員各位の特段の御指導・御尽力があつて、利用者の方々や行政・福祉関係各位の御理解・御協力をいただけたものと改めて感謝を申し上げます。